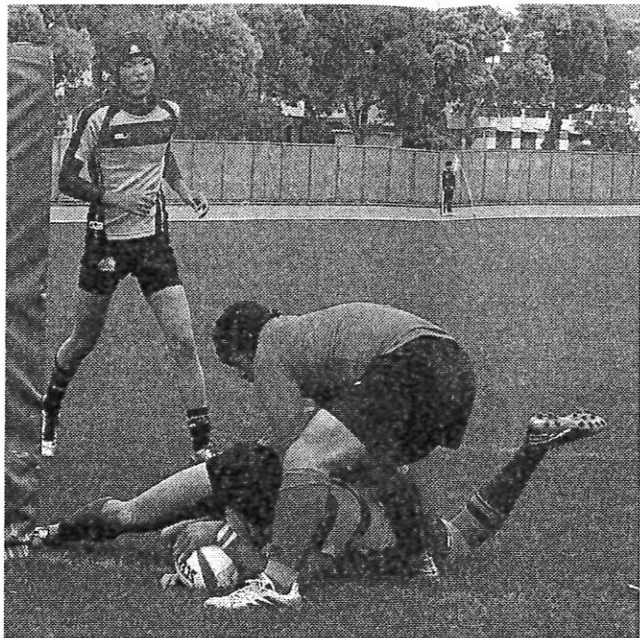


紀伊民報



大会は7分ハーフ(ハーフ)をAとDの4プールに分けてタイムは2分。参加12チームで予選リーグを行い、各プールの1位が決勝トーナメントに進んだ。

第1回全国高校7人制ラグビー県大会が20日、和歌山市の紀三井寺球技場であり、紀南勢の熊野が決勝に進んだが、和歌山工業Aに敗れて準優勝に終わった。優勝した和歌山工業は7月19日から、長野県・菅平高原で開催される全国大会に県代表で出場する。

# 熊野、惜敗で準優勝

## 高校7人制ラグビー県大会

大会は7分ハーフ(ハーフ)をAとDの4プールに分けてタイムは2分。参加12チームで予選リーグを行い、各プールの1位が決勝トーナメントに進んだ。

紀南勢は熊野のほか、田辺、田辺工業、新宮、新翔が出場したが予選リーグで敗退。決勝トーナメントは初戦で熊野が星林を38-0で、和歌山工業Aが近大和歌山を26-7で破った。

決勝は前半、和歌山工業Aが5点を先制したのに対し、熊野は敵陣ゴール前から短いパスをつなぎながらラックを連取、最終パスを受けた田上

△熊野―和歌山工業A。5点を先制された熊野は、田上が同点のトライを奪う(20日、和歌山市の紀三井寺球技場)

がトライ(ゴール)して7-5と逆転。後半にも自陣から積極的にパスを回し、中村のトライ(ゴール)でリードを広げたが、その後2トライ2ゴールを奪われ、14-19で逆転負けした。

和歌山工業の山下弘晃監督は「ディフェンスが良く頑張った。この勝利を秋につなげたい」と話し、熊野の田上拓主将は「決勝では緊張感から熊野のラグビーができなかった。この甘さを克服して、今後の国体予選、秋の全国県予選では必ず優勝したい」と話した。予選リーグの各プール順位は次の通り。

- ②田辺③新宮▽C①近大和歌山②那賀③合同(有田中央、和歌山東)▽D①星林②和歌山北③田辺工業
- A①熊野②新翔③和歌山工業B▽B①和歌山工業A